

この人に 会いました



ともひろ
井口智裕 さん

生年月日 昭和48年7月6日生まれ

Q1 まずは自己紹介 をお願いします

越後湯沢駅西口のHATAGO井仙の代表をしております。

本業の旅館業以外に旅館仲間3人と一緒に経営している合同会社雪国食文化研究所と一般社団法人雪国観光圏の代表理事も務めております。

Q2 観光圏とは 何ですか？

市町村や道府県の行政区にとられず、快適にお客様が地域を回遊していただくに、複数市町村で一つの広域圏を形成し、互いの地域の特徴や強みを活かす

た取り組みをすすめていくことが観光圏の取り組みです。

その中で湯沢町が中心となって進めている雪国観光圏は全国で6か所しか認定を受けていない「ブランド観光地準備地域」として、観光庁に協力をいただきながら、日本の顔になるブランド地域を目指して活動を進めています。

Q3 将来のこの地域 に対してどのよ うなことを期待 しますか？

「100年後も雪国であるために」が雪国観光圏の基本理念です。
そのためにはお年寄りが

Q4 湯沢町議会に期 待することはな んでしょうか？

私は町づくりにとって大事なことは理念の共有だと思えます。
目の前のよりよい暮らしも大事ですが、議会の皆様には湯沢町の100年後に

幸せに暮らし、大人が情熱をもつて仕事に取り組む、子どもたちが親の背中を見ながら夢を持てる地域にしなくてはいけないと思っています。

あるべき姿をしつかり共有し、その理念にむかって一歩ずつ現状を変えていく努力を行ってほしいと思います。



編集 後記

読んでもらえる以前に、まず手に取って見てもらえる広報づくりに向けて取り組んでいるつもりですが、なかなかかはかばかしくは改善されません。それでも、写真を載せてその説明を入れ、「〜について」というタイトルをやめて見出しを加えるなど、工夫をしています。

また今回から一般質問はタイトルを入れて900字としました。皆で文章を短くする努力をしています。

さらに委員長提案&担当で「あの質問はどうなった？」の特集を盛り込みました。いかがだったでしょうか。

残る任期中も同様に取り組むつもりです。改善へのご意見などお寄せいただければ幸いです。

広報委員 岸野雅人

広報委員会

委員長 角谷 勉

副委員長 白井孝雄

委員 岸野雅人・高橋綾夫

委員 関 忠夫・高橋五輪夫

編集

湯沢町議会広報常任委員会